

## 成田山新勝寺 結婚式メモ

私たちは2021年5月16日に成田山新勝寺で結婚式を挙げさせていただきました。

結婚式の準備にあたり、あまりにも情報が無かったため、参考になればと思い、書かせていただきました。この時期は、COVID19という感染症がまだ続いており、私たちが準備を開始した時期では、まだワクチンが日本に入荷していなかったです。

いろいろ経緯を書くと長くなってしまいますので、先に結婚式当日の流れを書きます。

### <結婚式・披露宴当日の一日の流れ>

08:30 新郎新婦着付師 名取亭へ集合

09:00 新婦着付開始

10:30 新郎着付開始

11:45 名取亭出発(着物組はバスで移動)

12:00 成田山新勝寺着

12:30 参列者受付

13:00 親族紹介

13:30 結婚式開始

14:00 結婚式終了

14:20 写真撮影完了

着物組はバスで

参列者は徒歩で

14:30 披露宴受付開始

15:00 披露宴開宴

17:00 閉宴

参列者 35名

初穂料 30万円

### <協力者>

披露宴・着付・マイクロバス:[名取亭](#)

着付師(衣装込):[もろおか礼法きもの学院](#)

ウエディングプランナー:[A Praesenti](#)(千葉市)

ケーキ屋:[グリーンデルワルト](#)

レンタル品:[㈱イベントコミュニケーションズ](#)

成田山新勝寺で結婚式を挙げる場合、

空港周辺のホテルに頼むのが一般的なのですが、ホテルから新勝寺までの移動はバスとなり、密の状

態になるため、どうしても避けたかったです。また、披露宴の会場も大きな窓があるとも限らないので、避けたかったです。

それで、新勝寺から歩いて行ける名取亭に伺って見たら、披露宴会場と着替え場所、控室に良さげな部屋がいくつかありました。最初の段階では、空いていればよしということになりました。

成田山新勝寺は本堂課が担当しておりまして、

最初の相談では、仮日程と簡単な資料をいただきましたが、感染症の影響で参列者の人数制限 30 名というのが大きな障害となりました。挙式までの事前打ち合わせは 2 回(1 回目が挙式 1 か月前,2 回目が 1 週間ぐらい前)という案内でした。

着付けは、もろおか礼法きもの学院(成田市)へ成田山に詳しいということをお願いしました。

前撮りすることになりましたが、カメラマンもセットとなり、結婚式当日もそのままお願いすることにしました。成田山に詳しいだけあって、ダンドリ(妻の体調管理、撮影申請、駐車場、撮影順路、演出など)は素晴らしかったです。スタッフは着付け教室に通うベテランの方々なので、手際よく、しかも、安かったのではないかと思います。

ウェディングの進行役として、A Praesenti(千葉市)へお願いしました。

成田周辺のウェディングプランナーは、どこも返信がなく、やっと快く引き受けてくれたのが、この会社でした。招待状の書き方から始まり、披露宴の閉宴まで必要なことを細かく案内していただきました。プランニングの他、披露宴の司会者、音響の手配をお願いしました。参列者が少なかつたため、高額に感じましたが、プランナーさんがいなかったら、とても式は挙げられなかったと思います。

ケーキは妻の付き合いがあるグリーンデルワルト(成田市)にお願いしました。

幸いグリーンデルワルトと名取亭も付き合いがあり、必要なことは直接、話をしてくれて助かりました。入刀ナイフも借りた他、引き出物に入れる菓子、いろいろと頼ませていただきました。

装花は名取亭出入り業者である平澤生花店(成田市)に頼みました。

プランナーさんよりゲストテーブルにも花を置いた方がよいのではという提案でしたが、感染症の影響でゲストテーブルにはアクリル板が置かれることになってしまいました。花とは関係ないウェルカムコーナー向け置台まで借りれて助かりました。

披露宴の準備を進めるにあたり、名取亭には無いものが出てきてしまいました。

それは、長テーブル(受付用)とテーブルクロス、ケーキ台、司会台、さらに赤外線用体温計。

全部揃えられたのがイベントコミュニケーションズ(木更津)でした。ケーキ台はケーキの大きさに合わせて、大きすぎないもの[システムパネル]をチョイスしました。自宅からはちょっと遠いので、配送でお願いしました。

さて話を新勝寺での結婚式に戻します。

招待状を作成するにあたり、参列者 30 名までが障害となっていました。最初の相談より感染状況が落ち着き、親族の方がいろいろ問い合わせてくれた結果、参列者が 50 名程度 OK ということになりました。これにより、招待客全員参加 OK ということになり、招待状の記載内容が大きく変わりました。招待状を出す前に新勝寺での 1 回目の打合せをしておいた方がよいと感じました。

その他、有益な事項を記載します。

- ・新郎新婦の車両は、本堂玄関前までクルマが着けられます。
- ・受付は新勝寺職員が対応し、参列者のチェックのみで、祝儀や芳名カードは受け取りません。（飾りも不可。プロフィール配布も不可。） 荷物預かりは可。
- ・親族紹介の時間を設けることは可。
- ・車椅子も用意可。
- ・着付師、カメラマンは参列者とは別枠で可。
- ・参列者の対応は新勝寺職員で対応。

ってことで

受付傍に案内係を立ててもらい、そこで検温してもらうことにしました。

式は 30 分ぐらいで終わりました。

参列者には好評でした。

つづいて、披露宴会場である名取亭について記載します。

成田山公園のほりにある料亭ですが、通常営業では使用していない建物があり、そこで着付や宴会もできる部屋(窓が開く)があり、本堂より徒歩 8 分で着くという点ではこれ以上ない立地と感じました。マイクロバスもあり、着物組や駅までの送迎にも利用させていただきました。ただ、座敷なので足の悪い方をどうするのかという課題はありましたが、小さい子供連れの親にとっては、そのまま寝かせられるという利点があったことに後日知らされました。

その他、持込ケーキの冷蔵保管や金屏風の準備、姿見の借用、アクリル板の作成など、営業範囲を越えて尽力いただきました。私たちは両家の顔合わせや前撮り等で大変お世話になりました。

準備は大変でしたが、両家の家族が意見を交わすことで、お互いが今後生活していく上でより知り合えたかなと感じています。

さて、結婚式を終えて、すでに半年以上が経ちました。せっかく苦勞して、結婚式を挙げたので、なんとか形として残すものを作りたいと思っていて、ようやくまとめることができました。

乱文ではありますが、必要な方に役立てたらと思います。

2022 年 1 月 永井大悟